

校庭に、春の柔らかな風が吹きわたる爽やかな季節となりました。この佳き日に、大阪府立鳳高等学校第七十六回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びです。本日はご多用の中、ご来賓として、PTA会長の鈴木啓祐（すずき けいすけ）様、同窓会会長の辻宏康（つじ ひろみち）様をはじめとする皆さまにご臨席を賜りました。高い処からではございますが、厚く御礼を申しあげます。

ただ今入学許可宣言をいたしました二百八十一名の新入生のみなさん、入学おめでとうございませう。皆さんの心は今、入学の喜びとこれから始まる高校生活への期待とで大きく膨らんでいることと思います。皆さんは、厳しい入学者選抜を乗り越えて、本日、晴れて鳳高等学校の第七十六期生となりました。本校を代表して、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は、令和三年に創立百周年を迎える歴史と伝統ある学校であり、これまで三万名を超える卒業生、そして各界で活躍する多くの人材を輩出してきました。今、その学校の一員となった皆さんには、誇らしい気持ちとともに大きく胸を張ってほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。高校入学の節目に当たり、成長した我が子の姿を改めてご覧になり、お喜びも一入のことと、心よりお祝いを申し上げます。私たち教職員一同は、皆様がお子様に寄せる深い思いを真摯に受け止めますとともに、課せられた責任の重さに、身の引き締まる思いを致しております。本日以降、お子様の大きな成長をめざして教育活動に勤しんでまいりたいと存じます。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの中学校においても学年の初めから休校措置が続きました。高校受験を一年後に控える中、勉強が遅れることへの不安や、中学校最後の部活動に集中できないもどかしさ、そして何よりも友達や学校の先生と会えない寂しさなど、これまでに体験したことのない状況が長く続き、中学三年生であった皆さんの胸の内には、様々な不安や戸惑いが渦巻いたことと思います。今まで当たり前と思っていたことが、実は当たり前ではなかったということ、皆さんを含め世界中の人々が痛感しました。

そんな中、昨年東京オリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、今年の七月、一年遅れでの開催をめざして現在、準備が進められています。海外からの観客の受入れが困難となり、聖火リレーの実施も思うに任せないなど、現時点においても開催が可能なのか、或いはどのような形で開催されるのか、詳細については不透明な状況ですが、そのような中にあっても様々な立場の人たちが、近年のオリンピック・パラリンピックとは異なる新たな開催方法の可能性について種々議論を交わしておられます。国内外のスポーツに深い知見を

持つ荒木重雄氏は、「オリンピックイズムとは国籍、言語、宗教、文化が違う人々が理解し合って平和な世界を築こうというもの。（中略）今こそ世界が一つになって見えない敵に戦って勝利して平和な世界にすると、新しい姿をみせられれば、二十一世紀型の五輪の価値を発信する大きなチャンスにもなる。」と述べています。

新型コロナウイルス感染症の感染爆発は、人類にとつての大きなピンチであることに間違いありません。今も、この感染症との戦いの最中で踏ん張っている人、苦しみに耐えている人が多くいることを私たちは忘れてはなりません。一方で、荒木氏が言う、新型コロナウイルス感染症への対応の必要性から生じた、これまでとは異なったオリンピック・パラリンピック開催方法への模索の取組みは、どんなピンチをもチャンスに変えようと、挑戦を続けることで新たな希望を生み出そうとする、決して諦めない人間の姿を示唆するものだと思います。

白樺派の文学者として知られる武者小路実篤の作品の中に、「もう一步。いかなる時自分も思う。もう一步。今が一番大事なときだ。もう一步。」という短編があります。今日から始まる高校生活は皆さんにとつて一番大事なときになり得ると思います。たとえピンチに見舞われても、もう一步、もう一步と唱えながら、飽くまで前向きに、成果が出るまで諦めない、心の強さを身につけてほしいと思います。

新入生の皆さんが生きていく、これからの社会は、産業構造や社会システムが非連続的とも言えるほどの急激なスピードで変化していくだろうと予測されています。特に、パソコンやスマートフォン等の普及により、今や、多くの知識や情報が簡単に皆さんの手に入るようになりました。このような時代だからこそ、皆さんは、多くの情報を広い視野から見直し、本当に自分に必要を正しい情報は何かを見極めて取捨選択できる、情報活用能力を身に付けなければなりません。言い換えると、これから先、皆さんには、他の人々と共に課題を解決していく自主性や、新たな価値を生み出していくための豊かな感性はもとより、自ら進んで変化に向き合い、多様な文化や価値観を受容するダイバーシティの考え方を身につけることが、これまで以上に求められるということです。

こうした時代の要請に忘れないで、皆さんが人生百年と言われるこれからの時代を生き抜くために、明日からの本校での活動においては、知識や技能をできる限り多く習得すること、修得した知識・技能を使って自ら考え、判断し、そして思いを表現する力を身につけてほしいと思います。皆さんが学ぶこの鳳高校は、全日制普通科単位数制という、特色のあるシステムを有する学校であり、すべての生徒が学習する科目に加え、百三十もの選択科目を設置しています。また、部活動も盛んです。本校での高校生活は、これまで皆さんが経験してきた以上に、多くの学習の機会を皆さんに与えてくれることと思います。本校での学習を通して、皆さんが自身の知識や技能の質を高め、確かな学力と高い知性を修得してくれることを願う。

ています。

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクの常時着用など様々な制限を受けながらの学校生活となりますが、私たち教職員一同は、皆さんが、本校の多様な学びに積極的に取り組むことで、将来の進むべき道を見定め、その道を高い志を持って歩いていけるようサポートしていきます。保護者の皆様に於かれましても、どうか、本校の教育に御理解、御協力を賜り、学校と共に手を携えて、常に暖かくお子様を見守り、その成長をしっかりと支えていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、第七十六期生の皆さんが、たくましく成長し、「天高く翔る（てんたかくかける）」鳳凰のように力強く羽ばたいてくれることを、そして、本校の伝統を受け継ぎ、次の百年への架け橋となってくれることを期待して、入学式の式辞といたします。

令和三年 四月六日

大阪府立鳳高等学校

校長 田中 肇